

■本宿自治会

10月20日の避難訓練の参加者は23名。回収したアンケートは12件でした。

朝9時に各家庭から直接、広域避難場所である「湘南カントリークラブ」を目指しました。一時避難場所に相当する広場等が無いからです。

避難訓練終了後、会員から出た意見、反省点は下記のとおりです。

- ・距離があるので、自治会の端からは30分以上かかってしまう。
- ・坂が多くしんどい。
- ・広域避難場所を示す案内板(看板)が、小さく(A3サイズ)見にくい。経路が分かりにくかった。
- ・高齢者、身体に問題等が有る方では、東小和田交差点からでも、45分以上かかる。
- ・アンケート結果は10件が、「遠い」、2件が「適切」。
- ・湘南カントリークラブには、備蓄品は何も無く、ただ、火災から逃れられると言うだけである為、もっと近くでも良いのでは、と言う意見が大勢でした。

私共避難民は、最悪、帰る家も無くなる、と言うことから避難場所のその先はどうなるか、と言う事をはっきりと行政に示して貰えないと、防災会としても、自治会員にどう示して行くかを決めようが無い、という結論に達しました。



カントリークラブ前

■特別参加者コメント

□防災対策課

・訓練の目的を共有して、リスクが何であるか理解して欲しい。今回は大規模火災から、広域避難場所への避難であるが、風向きによる別ルートも検討。

・広域避難場所には備蓄品を備えていないので、各自が備蓄品を持参する訓練も必要。  
・火災での避難が前提の場合、小規模火災であれば延焼阻止線(国道一号線や大きなマンションなど延焼を防ぐもの)を考えての避難も良い。

□消防分団

・火災時はまず、消防署へ連絡すること。  
・移動式ホース格納箱と消火栓の位置を確認して欲しい。

□小和田小高澤校長

・学校での避難訓練は実施している。休日等は子どもが地域にいますので、地域の訓練に参加出来る。  
・学校での大規模火災への対応を考える必要。

アンケート集計結果		自治会名	赤松	赤松町	新宿	プランヴェール	本宿	菱沼小和田
		アンケート数	16	16	28	17	12	49
一時避難場所	指定された場所への経路	分かり易かった	15	16	28	17	指定せず	48
		分かりにくかった	0	0	0	0		0
	指定された場所の広さは	集まりやすかった	14	15	28	17		43
		集まりにくかった	0	1	0	0		3
広域避難場所は	遠い	1	0	6	1	10	8	
	適切	15	16	22	15	2	38	
指定広域避難場所		神台公園他	神台公園	TOTO	赤羽根中	湘南CC	赤羽根中	

編集後記：今回の防災訓練は、小和田小学校が使えないため、苦肉の策ではありましたが、広域避難場所避難訓練とし、各自治会で経路や場所の設定を御願いしました。報告会でも指摘がありましたが、歩道上にある電柱が意外と邪魔であること、東海道の松に倒壊の不安があることは新たな気づきではないかと思いました。

本宿自治会では湘南カントリークラブを広域避難場所として設定したため、多くの方が遠い、坂がキツいと回答しており、この場所が適切なのかと疑問視する意見が多くありました。また、安否確認訓練との連携の必要性も指摘され、今後の課題となりました。休日なので小学生の参加もありました。

編集責任：小和田地区自治会連合会

# こわだ防災



【広域避難場所候補地】(一部市外も選定、赤字が実際の選定地)

- ① 県立茅ヶ崎高校(新宿)
- ② TOTO 株式会社茅ヶ崎工場(新宿)
- ③ 赤羽根中学校(菱沼小和田・プランヴェール)
- ④ 湘南コロン・エナジー株式会社(赤松)
- ⑤ 藤沢市神台公園(指定外)(赤松・赤松町)
- ⑥ 赤羽根農業ふれあい館周辺農道(指定外)(菱沼小和田・プランヴェール)
- ⑦ 湘南カントリークラブ(本宿)

■ 第23回 小和田地区防災訓練

2024年度の防災訓練は、10月20日(日)に計画されましたが、前日が小和田小学校創立50周年記念式典になっていたため、体育館が使用出来なくなりました。そのため、防災部会で議論し、「広域避難場所避難訓練」を行い、体育館を使用しない防災訓練としました。

少し寒い位の天候でしたが、小雨程度で済んだので、各自治会とも、トラブル等無く無事に避難訓練が実施出来ました。

訓練後は複合施設の会議室で、報告会を開催、各避難場所までの経路や場所に関する意見が報告されました。

主催：小和田地区自治会連合会

■ 広域避難場所避難訓練訓練

2024年10月20日(日)

09時00分 各自治会毎に集合・出発  
11時00分 複合施設会議室

報告会開催  
特別参加者 防災対策課、消防分団、小和田小校長  
各自治会アンケート回収

■プランヴェール湘南茅ヶ崎自治会

自治会役員と防災リーダーを中心に17名で訓練を実施しました。

9時にマンション内の駐車場に集合し避難を開始、9時15分赤羽根中学校に到着、9時30分にマンションに帰着しました。

特に大きな問題もなくスムーズに移動できました。避難にあたっては車いすも参加し、車いすの出し入れや取り扱い、通行路の確認も行いました。

参加者へのアンケートでは次のような回答でした。

- ① 一時避難所の場所としては適切。
  - ② 通行路は課題あり。内容は通行路が狭い、他の通行人とすれ違えない、ルートが一つのため電柱や塀の倒壊などにより混乱(特に夜間)が予想される。
  - ③ 車いすについては、移動できないほどではなかったが、通行路にいくつか段差が扱いづかった。
- 今回の避難訓練を参考に、居住者に広域避難場所避難について、その意義や場所の周知を図り、また、安全で確実に避難できるように考えたいと思います。



赤羽根坂



赤羽根中学校

■菱沼小和田自治会

当自治会は、一時避難場所として5ヶ所を設定し広域避難場所である赤羽根中学校へ向かいました。この訓練の参加者は56名です。

	一時避難場所	参加者	所要時間
1	スマイルパーク	10名	15分
2	小和田北公園	8名	13分
3	津戸田公園	12名	25分
4	菱沼なかよし公園	10名	14分
5	遊歩道	12名	20分
6	広域避難場所待機	4名	

アンケート集計結果（回収数：49名）

- 1) 指定場所の経路 分かりやすい：49名
- 2) 指定場所の広さ 集まり難い：3名 集まり易い：44
- 3) 避難経路に不安な場所
  - ・高速道路の倒壊等が心配
  - ・赤羽根中学校の坂道がきつく、車椅子・老人等の移動が困難ではないか



- ・避難ルートに狭い場所が多く住宅が迫っている
- ・一部箇所、倒壊の可能性がある高いブロック塀があり危険
- 4) 指定された広域避難場所は遠くないか 遠い：7名 適切：39名 全体を通しての感想（主なもの）
  - ・一時避難場所の必要性を感じない、各自の判断で自分の身を守る
  - ・次回、車椅子での行動を入れてみて、車椅子での坂道の使い方を学ぶ
  - ・坂がきつい、狭い、曲がりが多い
  - ・倒壊した建物と火災場所をトランシーバー等で連絡しあって欲しい
  - ・役員の方々より一般の方への周知が大切、自主的に参加出来るよう、広く報じる事が重要
  - ・共助は知り合いなることから始まると思うのでイベント等も大切だと思った
  - ・飲み水を貰うところはどこですか
  - ・高速道路、民家等火災時はどの様になっているのか不安

■赤松自治会

当自治会では、近くに2箇所の広域避難場所があるため、

- ・赤松公園→赤松ハウス前→神台公園
  - ・赤松3号緑地→湘南コラン・エナジーの2経路での避難訓練を実施しました。
- 自治会役員と防災リーダーが主な参加者でしたが、その他にも1名の一般参加者がありました。結果的に合計18名の参加となりました。

- ・神台公園：11名
- ・湘南コラン・エナジー：7名

今回の訓練では、自治会所有の車椅子を1台ずつ準備して、車椅子ボランティアを行っている方の指導で、取り扱い上の注意点を受けながら神台公園へ移動しました。

湘南コラン・エナジーでは会長が取り扱い上の注意を行いました。

参加者からは、もっと多くの方に車椅子の取り扱いを教えた方がよいとの意見があり、



自治会主催での「車椅子講習会」計画の案が出ています。

一時避難場所として「赤松ハウス前資源物集積所」も予定しましたが、集まった方はありませんでした。

アンケートの結果を見ると、二箇所ともかなり近めの場所なりましたが、場所が遠いと感じた方が1名いました。経路は分かり易かったようです。

神台公園では赤松町自治会と合流しました。

■新宿自治会

避難訓練には、28名が参加しました。自治会内に5ヶ所、一時避難場所を選定し、分散して集合し、先ずトランシーバーを使って各場所の状況を確認し合いました。

その後それぞれの経路で1号線を使って、今回の避難先である広域避難場所「TOTO茅ヶ崎工場」まで、徒歩で避難をしました。

ある場所からは車いすで避難、他の場所からはカートを使ってお茶と保存食（カロリーメイト）の運搬も行いました。広く比較的 안전한1号線を共通の避難経路としたのですが、歩いてみると、20m置きに電信柱が並び、電線が密集していて、更に松並木もありました。



大地震でこれ等が倒れ、車も立ち往生すると、1号線も決して安全ではないことが分かりました。

情報共有と状況判断の難しさを感じた訓練でした。また車いすやカートの移動は大変困難で、車いすでは横にも一人必要なことや、引っ張るロープが必要となることも分かりました。歩道沿いの壁が倒れると、特にこどもには危険なことも実感できました。

今後は若い人やこども達も含め、より多くの人達に参加して体験して欲しいと思います。

■赤松町自治会

当自治会では一時避難場所を10か所設定（ゴミ集積所と同規模の利用者を想定）しており、自宅→最寄りの一時避難場所→広域避難場所：辻堂神台公園の経路を、自治会役員、防災リーダー、および評議員の計20名が、徒歩で移動しました。

アンケート結果から、一時避難場所や広域避難場所は慣れ親しんだ場所であり安心感がある、と高評価だった一方、住宅密集地域での避難経路の狭さや、一時避難場所にどれくらいの人がかかるのか想像がつかないとの不安の声が寄せられました。



また、会員に広く周知すべき、安否確認と避難の連続性を検討すべき、との提案もいただきました。

これらの意見を踏まえて、今後は対象を会員にも広げ、避難行動様式を体得いただくようにしていきたいです。そして、一時避難場所の設定から10年以上経過し、自治会員の高齢化が進んでいることを踏まえて、一時避難場所の設定場所が適切かを改めて検討していきたいと考えています。